

アルファヴィル (1965)

ALPHAVILLE

ALPHAVILLE, UNE ETRANGE AVENTURE DE LEMMY CAUTION

メディア 映画
ジャンル SF
製作国 フランス／イタリア
色彩 B&W
時間 100分
初公開日 1970/05/30
公開情報 A T G
リバイバル 1994/08 [ウィズダム]

【解説】

製作当時から20年の後、1984年。活劇シリーズ物のヒーロー左利きの探偵レミー・コーション（コンスタンティーヌ）は星雲都市アルファヴィルに潜入する。と言っても、全ては地球上の事物を使ってハードボイルド映画風に語られ、これは一つの知的なパロディなのだと察知させる。ただ、住民のすべてが記号化され、個人の自由が剥奪されている所にSF的恐怖が生じる。レミーはブラウン教授を救い、行方不明のアンリを探す任務にある。教授はこの町を司るコンピューター、アルファ60の開発者。その娘ナターシャ（カリーナ）とレミーは親密になるが、彼女は他の住民と同じく愛を感じない。そうした人間的感情を削除されているのだ。レミーも逮捕されるが、教授を殺しアルファ60を破壊、ナターシャを連れ地球へと脱出する。冷ややかな表情が印象的なカリーナ。最後、“愛”を口にすることで微かな微笑みを浮かべるのだった。教授を、かつて亡命科学者役が専売特許だったタミロフが演じるのもアメリカ映画への一つのオマージュで、コンスタンティーヌのレミーは後に同じくゴダールの「新ドイツ零年」によって苦渋に満ちた甦りを果たす。

【クレジット】

監督	ジャン＝リュック・ゴダール	Jean-Luc Godard	
製作	アンドレ・ミシュラン	Andre Michelin	
脚本	ジャン＝リュック・ゴダール	Jean-Luc Godard	
撮影	ラウール・クタール	Raoul Coutard	
音楽	ポール・ミスラキ	Paul Misraki	
出演	エディ・コンスタンティーヌ	Eddie Constantine	レミー・コーション
	アンナ・カリーナ	Anna Karina	ナターシャ
	エイキム・タミロフ	Akim Tamiroff	アンリ・ディクソン
	ハワード・ヴァーノン	Howard Vernon	ブラウン教授（ノスフェラトゥ）
	ラズロ・サボ	László Szabó	
	クリスタ・ラング	Christa Lang	